

貸 借 対 照 表

2025年8月31日現在

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
【流動資産】		【流動負債】	
現 金 及 び 預 金	732,933	買 掛 金	119,591
売 掛 金	522,805	短 期 借 入 金	323,041
商 品	43,287	未 払 金	348,865
貯 藏 品	4,220	未 払 費 用	29,304
前 払 金	18,527	未 払 消 費 税 等	176,380
預 け 金	32,627	リ 一 ス 債 務	1,024
立 替 金	14,901	契 約 負 債	92,739
未 収 入 金	4,461	預 り 金	15,281
前 払 費 用	11,248	未 払 法 人 税 等	70,676
そ の 他	0	賞 与 引 当 金	32,557
貸 倒 引 当 金	△ 5,306	そ の 他	18
【固定資産】		【固定負債】	
有形固定資産	206,971		
建 物 物	7,978	長 期 借 入 金	220,982
建 物 附 属 設 備	20,072	リ 一 ス 債 務	3,938
構 築 物	10,338	預 り 敷 金 保 証 金	6,280
機 械 装 置	27,923		
工 具 器 具 備 品	135,626		
リ 一 ス 資 産	4,169	負 債 合 計	
建 設 仮 勘 定	863	1,440,681	
無形固定資産		純 資 産 の 部	
ソ フ ト ウ イ ア	18,116	【株主資本】	
投資その他の資産		資 本 金	230,449
投 資 有 価 証 券	0	資 本 剰 余 金	50,000
出 資 金	100	そ の 他 資 本 剰 余 金	48,510
長 期 前 払 費 用	1,378	利 益 剰 余 金 計	131,938
破 産 更 生 債 権 等	0	そ の 他 利 益 剰 余 金	131,938
保 証 金	155	繰 越 利 益 剰 余 金	131,938
敷 金	40,808		
繰 延 税 金 資 産	23,886		
そ の 他	13,730		
貸 倒 引 当 金	△ 13,723	純 資 産 合 計	
資 产 合 計	1,671,130	負 債 ・ 純 資 産 合 計	
		1,671,130	

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品	最終仕入原価法
貯蔵品	最終仕入原価法

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定率法（ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法）

(2) 無形固定資産

定額法（ただし、自社利用ソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法）

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

売上債権、貸付金等の債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員に対する賞与の支給に充てるため、支給見込額のうち、当事業年度の負担すべき額を計上しています。

4. 収益及び費用の計上基準

主に宿泊客への客室の提供、レストランでの料理等の提供等を行っており、チェックインと共に客室の使用権利は顧客へ移転していることから、チェックインした時点で履行義務が充足されるものとし、収益を認識しておりますが、連泊時については、宿泊日ごとに収益を認識しております。レストランについては、サービス提供により履行義務が充足されるものとし、サービス完了時点で収益を認識しております。なお、顧客に移転する財又はサービスを支配しておらず、これらを手配するサービスのみを提供しているため代理人取引であると判断した取引については、純額で収益を認識しております。

2. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

普通株式	5000株
------	-------

3. 当期純利益

当期純利益	132,439 千円
-------	------------